



今回は、本年度の具体的な取組⑤⑥について本年度の取組と学校運営協議会委員の方のご意見を紹介します。

本年度の具体的な取組

- ⑤ 昭和地区のよさや地域の人の優しさ、温かさを知るような園外保育や交流を行う。
- ⑥ 親子で地域を知ることができるよう地域行事への参加を促す。



川、土手、洞窟、神社など、昭和には子どもたちの心が弾む場所がたくさんあります。防火パレードで維新地区を歩いていると子どもたちが「先生、ここから滑ったら面白いと思う。滑っていい？」と土手を指さして言いました。その発想が素敵でうれしくなりました。れんげ畑、川遊び、野菜の先生など地域の人のご協力をいただいています。近くに駅があり、電車に乗って園外保育に出掛けることもできます。来年度もいろいろな場所に出掛け、地域の人と交流していきたいと思ひます。

【学校運営協議会委員から】  
多くの園外保育と地域の人との交流を行っており、幼児は豊かな経験をしている。継続してほしい。

9月「みんなで楽しもう昭和五つ星文化祭（まつり）」12月「大国屋3周年マルシェ」などへ参加しませんかと声を掛けました。親子で参加すると楽しかったり、地域の方に喜んでもらったりします。また、園外保育に出掛けた時の子どもたちの様子を伝えて家庭からも行ってみたいとお願ひもしました。子どもたちは地域の人に見守られながら大きくなっています。

【学校運営協議会委員から】  
参加したら楽しかったと保護者と幼児が感じるとまた参加しようと思うのではないかと。できる範囲で呼び掛けを行うとよい。

1年間、幼稚園の教育にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。この園で過ごす子どもたちが、いきいきと心を動かして自分のしたいことを見付けたり、やりたいと思うことにじっくりと、失敗しても何度も取り組んだり、人とかかわる力を身に付けて一緒にするともっと楽しくなると感じたりすることができるよう来年度も取組を進めていきたいと思ひます。卒業・修了おめでとうござひます。